

User Guide

PROMPT Flex 分娩トレーナー

180100 スタンダード *Standard*

180106 アドバンス *Advanced*



重要事項

このガイドはPROMPT Flex分娩トレーナーをご使用いただく前にお読みください。
記載されている指示に従い、製品を損傷しないようご注意ください。

必ず手袋を着用し、アクセサリ類は外してください。
爪や指輪などの鋭い部分で、シリコン部品を損傷する場合があります。

潤滑剤と疑似血液は製品付属のもののみを使用してください。
推奨されない液体製品を使用するとトレーナーが弱くなったり、損傷する場合があります。

本製品を使用するにあたって、潤滑剤は大変重要です。不適切な潤滑剤を使用すると、シリコン部分に裂傷や損傷が生じる場合があります。

トレーニングの際には必ず子宮頸、産道、胎児に潤滑剤を塗布してください。
下記の部分には少なくとも付属の潤滑剤を2~3回プッシュ程度、塗布してください。

- ・膣内部と会陰部縁周囲
- ・子宮頸表面
- ・胎児の頭部、肩、身体、四肢など（胎児には十分塗布すること。）

子宮頸が骨盤リングのところでふらふら動いている場合があります。
これは潤滑剤が溜まっているためです。骨盤リングを外して、
子宮頸表面を拭けば解決します。

トレーニングの終了後、母体と胎児の表面の潤滑剤を湿った温かい布で
拭き取ることが大変重要です。また、余分な潤滑剤を拭き取るために
同梱のベビーワイプもご使用いただけます。



警告：胎児または胎盤への潤滑剤の塗布が不十分であると、
産道や子宮頸を通る際に傷つける可能性があります。

構成品

180120



母体

180121

スタンダード
180122
アドバンス (FM)



胎児

180123



胎盤

180124



腹壁



骨盤リング

180126



子宮頸

180125



会陰と産道

180130



固定用ストラップ

110193



潤滑剤 (250ml)



オプション (別売) 品

180110

下腿
(膝関節モジュール付)

PROMPT Flex 分娩トレーナー スタンダード

180100

生まれ変わったPROMPT Flexは解剖学的正確性、耐久性、機能性のいずれも向上しました。モジュールを追加することで、多様なシナリオの再現もできます。

分娩単独のトレーニングだけでなく、ハイブリッドシミュレーションのトレーニングにも活用できます。分娩の基本からアドバンスまでの理想的なトレーニングツールです。



PROMPT Flex 分娩トレーナー アドバンス

180106

アドバンスには、胎児（フォースモニタリング）とシナリオトレーニングが含まれます。

胎児頸部にかかる牽引力をリアルタイムでフィードバックし、アクションリストとともにタイムテーブルに記録します。

多数のシナリオトレーニング機能はシミュレーション中のあらゆる行動を記録し、分娩に要した時間とともにふりかえることができるよう、シナリオレポートのPDF出力もできます。

ホームページからソフトウェア（アプリケーション）をダウンロードし使用します。

※タブレットPCは別売



Skills comparison スキル対比

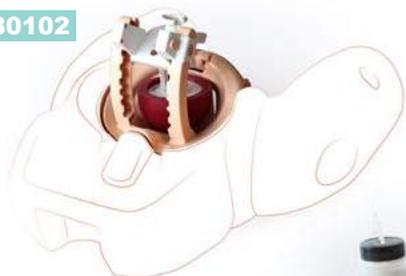
	スタンダード	アドバンス
● コミュニケーションとチームワークスキル (SP)	○	○
● 正常分娩	○	○
● 骨盤位分娩	○	○
● 肩甲難産	○	○
● 器械分娩 (鉗子および吸引)	○	○
● 胎盤娩出	○	○
● 臍帯脱出	○	○
● 尿道カテーテル留置	○	○
● IMインジェクションパッド	○	○
● 胎児頭部牽引力フィードバック	×	○
● シナリオ記録とフォースモニタリング	×	○

	スタンダード	アドバンス
● 180120 母体	○	○
● 180121 胎児 (スタンダード)	○	×
● 180122 胎児 (フォースモニタリング用)	×	○
● 180123 胎盤	○	○
● 180124 腹壁	○	○
● 180125 会陰と産道	○	○
● 180130 固定ストラップ	○	○
● 110193 潤滑剤	○	○
● キャリーケース	○	○

Additional Modules 追加オプション

子宮頸部拡張・頸管展退 (内診) モジュール

180102



帝王切開モジュール

180103



産後出血モジュール

180101



1



母体を**四つん這い**の状態で作業面に置きます。腹部の下に枕2つを置いて支えます。

2



母体を**仰臥位**で作業面に置き、ストラップで固定します。

3



仰臥位で下腿を接続します。マックロパーツ法に有効です。

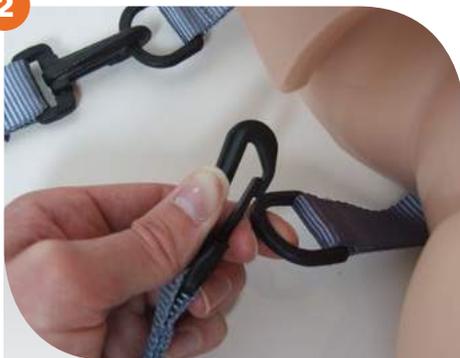
固定用ストラップの装着

1



モデルには3種のストラップが付属しています。ストラップをつなぐリングは母体の側面と下面にあります。

2



ストラップの2本はモデルの側面のリングにつなぎ、テーブルに固定します。残りの1本はモデル背面のリングにつなぎ、モデルの前後をテーブル面に固定します。

3



必要に応じてストラップを締め、モデルをテーブル面に固定します。

4



モデルがしっかりとテーブルに固定されました。

骨盤部の操作の前に

腹壁は簡単に取り外せます。必要に応じて、簡単に骨盤内で胎児を正しく配置できますので、さまざまな胎児体位を示すのに有効です。

注：腹壁を取り外さず胎児を配置することも可能です。

1



大腿部を平たんにします。

2



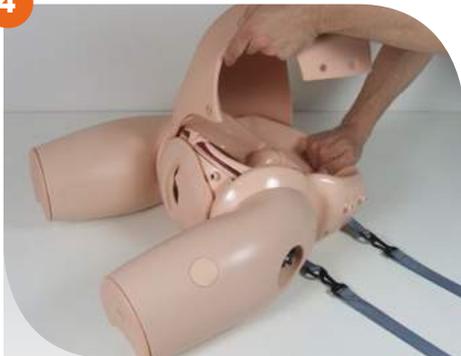
モデルの両面にある2つの固定ペグから腹壁を取り外します。

3



腹壁を固定ペグから持ち上げます。

4



腹壁はモデルの前面にある固定ペグにも固定されていますので、そちらも外します。

子宮頸の取り外し方

子宮頸は正常分娩にのみ装着します。骨盤位分娩、肩甲難産などのトレーニングを行う場合、子宮頸は取り外してください。

注：子宮頸を取り付ける時は、以下の手順を逆に行ってください。

1



固定つまみを反時計回りに90°回転させ、骨盤リングを外します。



2



骨盤リングは、固定つまみ側を持ち上げ、恥骨側を手前に抜き取って外します。

3



子宮頸を取り外します。
※子宮頸には裏表がありますので、装着する際は表面を確認してください。

子宮頸の取り外し方

4



骨盤リングをもとの位置に戻します。

5



固定つまみを時計回りに回し、骨盤リングを固定します。



子宮頸セットアップ

シミュレーション	子宮頸の要否
正常分娩	○
骨盤位分娩	×
鉗子分娩/吸引分娩	×
肩甲難産	×

会陰と産道パーツの取り外し方

1



スナップ付近の会陰と産道パーツを保持し、モデル前面のスナップからゆっくり慎重に外します。

2



前面の4つのスナップをすべて外してから、会陰と産道パーツをモデル前面から抜き出します。



3



モデルをうつ伏せにし、腰部付近のスナップも前面と同じように外してください。

下腿 パーツ の取り付け方

180110_下腿 (膝関節モジュール付き) は、PROMPT Flex分娩トレーナーの追加オプションとしてご用意ください。

1



付属の六角レンチで、大腿底部のボルトを緩めます。

2



モデルからボルトを外します。

3



大腿部底面のカバーを外します。

4



付属の膝関節モジュールを大腿部にのせます。

下腿 パーツ の取り付け方

5



とり外したボルトを、膝関節モジュールに差し込みます。

6



付属の六角レンチでボルトをしっかりと固定します。

7



膝関節モジュールに下腿部を取り付け、モジュールと下腿の穴があったところに、付属の芯棒を通します。

8



付属の白いネジを芯棒の反対側から差しこみ、下腿を固定します。
(反対側の脚部も同じようにします。)

1



腹壁をはずします。手順は『骨盤部の操作の前に』のセクションを確認してください。

2



付属のPROMPT用潤滑剤を最低2～3プッシュし、子宮頸に塗布します。

3



子宮頸の表面全体に潤滑剤が塗布されるようにまんべんなく広げてください。

4



会陰部にも、2～3プッシュ分の潤滑剤をまんべんなく塗布します。

5



胎児にも潤滑剤を2～3プッシュ塗布します。

6



潤滑剤を胎児の頭部全体に均等にひろげます。

7



肩、背中、腕、脚部まで、均等にまんべんなく広げてください。

8



胎児の臍部に胎盤をつなぎ、胎盤の両面に潤滑剤を塗布し、全体に広げてください。

9



胎児の腕と脚を完全に伸ばした状態で前方後頭位 (OA: 骨盤に胎児頭部を下) にして入れます。

10



骨盤にはさまるまで頭部をすすめます。肩は必ず斜めにします。

11



腹壁をふたたびとりつけます。そのままシミュレーションを行ってください。

正常分娩では、胎児が骨盤を通過させる時に、適度に胎児に回旋を加えることでよりリアルなシミュレーションとなります。

注:シミュレーション後は、すぐに母体や胎児、胎盤などに塗布した潤滑剤を湿らした温かい布などで拭き取ってください。

1



子宮頸を取りはずします。手順は、『子宮頸の取り外し方』のセクションで確認してください。

2



付属のPROMPT用潤滑剤を、最低2～3プッシュ手に取ります。

3



手に取った潤滑剤を、会陰部と産道全体にまんべんなく広げます。

4



会陰部は必ず内側、外側ともに塗布することを忘れないようにしてください。

5



胎児にも潤滑剤を2〜3プッシュ塗布します。

6



潤滑剤を胎児の頭部全体に均等にひろげます。

7



肩、背中、腕、脚部まで、均等にまんべんなく広げてください。

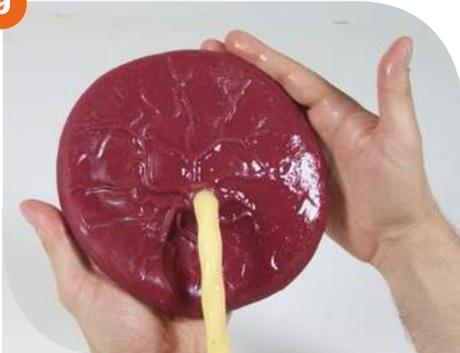
8



臀部にも、潤滑剤を2〜3プッシュし、まんべんなく広げてください。

骨盤位分娩

9



胎児の臍部に胎盤をつなぎ、胎盤の両面に潤滑剤を塗布し、全体に広げてください。

10



胎児を臀部から骨盤部に配置します。

11



胎児のからだを完全に娩出されるまで頭部を押し続けます。

骨盤位分娩では、陣痛やいきみのシミュレーションを再現するため、胎児頭部を押しすることが求められます。

注:分娩中、胎児の腕は曲げた状態で固定してください。(nucahl-armで伸展のシミュレーションを除き)

注:シミュレーション後は、すぐに母体や胎児、胎盤などに塗布した潤滑剤を湿らした温かい布などで拭き取ってください。



1
子宮頸を取りはずします。手順は、『子宮頸の取り外し方』のセクションで確認してください。



2
付属のPROMPT用潤滑剤を、最低2～3プッシュ手に取ります。



3
手に取った潤滑剤を、会陰部と産道全体にまんべんなく広げます。



4
会陰部は必ず内側、外側ともに塗布することを忘れないようにしてください。

5



胎児にも潤滑剤を2～3プッシュ塗布します。

6



潤滑剤を胎児の頭部全体に均等にひろげます。

7



肩、背中、腕、脚部まで、均等にまんべんなく広げてください。

8



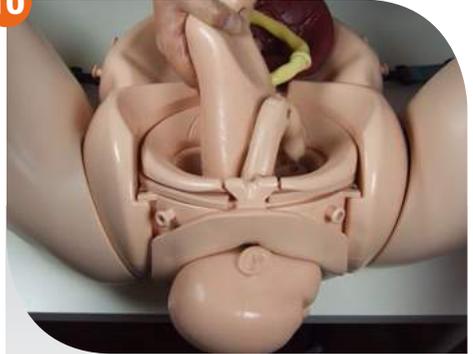
胎児の臍部に胎盤をつなぎ、胎盤の両面に潤滑剤を塗布し、全体に広げてください。

9



胎児の頭部を前方後頭位 (OA: 骨盤に胎児頭部を下) で骨盤部に配置します。必要に応じ、腹壁を装着します。

10



会陰部から頭部を娩出させます。

肩甲難産では、胎児の前在肩甲を母体の恥骨結合後方に押し込められている必要があります。シミュレーションではこのポジションを胎児を保持します。

注:シミュレーション後は、すぐに母体や胎児、胎盤などに塗布した潤滑剤を湿らした温かい布などで拭き取ってください。

ワイヤレスフォースモニタリング (Bluetooth) 設定

PROMPT Flexワイヤレスフォースモニタリング (Bluetooth)の胎児とソフトウェアの設定方法についての詳細は、フォースモニタリングベビーに同梱されているユーザーガイドをご覧ください。

ユーザーガイドはウェブサイトwww.limbsandthings.comからもダウンロードできます。

You may also be interested in Additional Modules

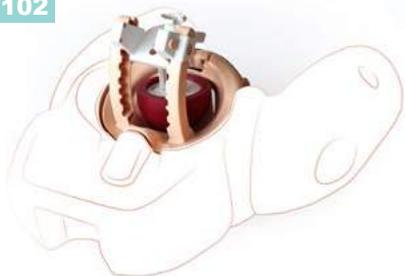
産後出血モジュール

180101



子宮頸部拡張・頸管展退 (内診) モジュール

180102



帝王切開モジュール

180103

